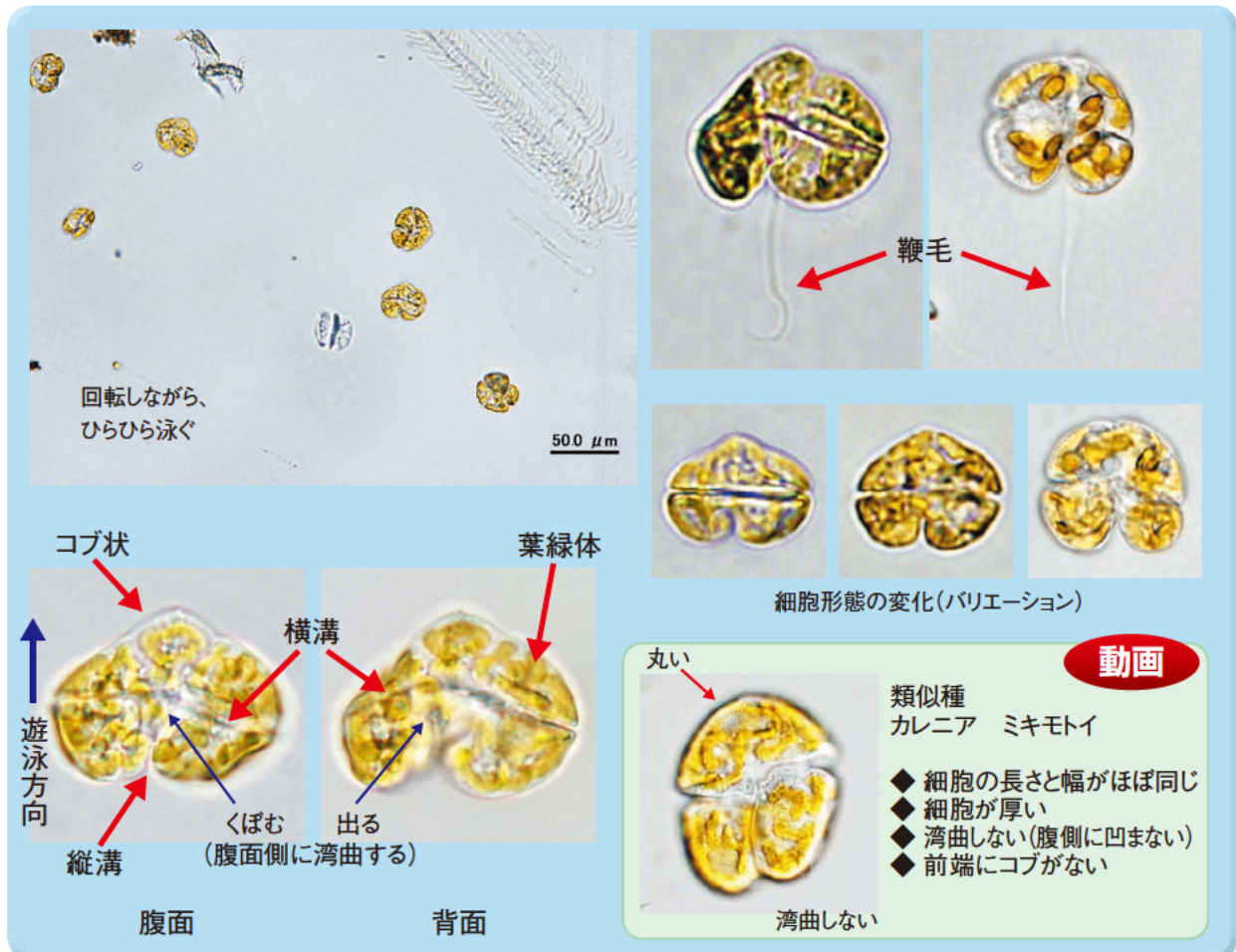


カレニア パピリオネイシア (渦鞭毛藻)

(*Karenia papilionacea*)

動画



大きさ 長さ18~40μm、幅15~70μm

形態 色は薄い黄褐色。細胞はかなり扁平で薄い。細胞長よりも幅が広く、チョウチョのような形をしている。細胞の左右両側が腹面側に湾曲する。細胞の前端には、コブ状の突起が見られることが多い。

動き 回転しながら、活発にひらひら泳ぐ。

分類 カレニア ブレビス(*Karenia brevis*) (旧名称:ギムノディニウム ブレーベ(*Gymnodinium breve*))と長年混同されてきたが、現在では日本国内で発生している種はカレニア パピリオネイシアであると考えられている。

漁業への影響：海外で発生している類似種のカレニア ブレビスは、神経毒を産生し、魚介類のへい死を引き起こすほか、二枚貝を毒化させることが報告されている。国内で発生しているカレニア パピリオネイシアの毒性は良くわかっていないが、赤潮が発生しても漁業被害が発生することはほとんどないため、無毒の可能性が高いと考えられている。ただし、播磨灘では養殖魚が被害を受けたとの記録があるので、念のため、注意が必要である。

漁業被害：平成23年8月に五ヶ所湾で赤潮が発生したが、漁業被害はなかった。

発生海域：伊勢湾～熊野灘沿岸

発生時期：6～10月頃(夏季中心)